

# 山形県立山形聾学校 高等部商業技術科(専攻科) 第1学年

## Google フォーム、Google サイト、Google Chat 等を活用した授業



日 時：令和3年11月16日(火) 10:45～11:35  
場 所：高等部商業技術科専攻科1年教室  
対 象：高等部商業技術科専攻科1年1名  
授業者：荒井裕之 教諭

1 山形聾学校の特徴 学級数21、幼児児童生徒数35名、教員数46名。

教育目標『豊かな言葉と自立の力を育む』、めざす子どもの姿『よく見て・聴いて・考え(判断し)、しっかり伝え(説明し)・行動(対応)する人』、育てたい資質・能力『言語能力・思いやりの心・自己肯定感・有用感』に向かい、聴覚に障がいのある幼児児童生徒が学ぶ学校である。

2 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり(1年次)～気づき考える授業を目指して～

3 単元名・目標 「総合教養B」(学校設定教科)

単元名： 「地域にある仕事を探そう」

一般常識に関する学習Ⅲ(社会人としての常識 一般教養に関する学習(主に社会))

- (1) 身近な課題に対して情報技術を活用して問題の解決ができる。(知識・技能)
- (2) 社会的分野の課題についてインターネット等を活用し、情報を収集すると共にそれらを整理し、まとめ、わかりやすく伝えることができる。(思考・判断・表現)
- (3) ICT機器の操作に慣れ、身近なことに興味をもち、自ら進んで一つの課題について多角的に考察し、根拠を明らかにして適切に表現する態度を身に付ける。(主体的に学習に取り組む態度)

4 単元計画(全7時間 本時2時間目)

1時間目	課題の設定	課題の設定理由を話し合う。
2時間目	課題の設定理由のまとめ	Google フォームを使って課題設定の理由を記入する。
3時間目 ～6時間目	〇〇市周辺の仕事調べ Google サイトでまとめ	Webブラウザを使って調べる。 Google サイトを使ってまとめる。
7時間目	発表	Google サイトでまとめた内容を発表する。

ICT活用ポイント

- (1) Google フォーム、Google サイト、Google Chat を活用し、文字等の視覚による学習中心とすることで聴覚の障がいによる学習の困難さを軽減・克服につなげる。
- (2) 単元中に生徒の在宅によるオンライン学習が想定される。そこでGoogle Meet、Google Chat を活用し聴覚障がいの困難さの軽減・克服につなげるとともにオンライン学習を可能とする。
- (3) Google フォーム、Google Chat、Google サイトを用いることで板書にかかる時間を短縮する。

5 主に活用した機器・コンテンツ

- ・Surface Go 2
- ・大型提示装置(液晶ディスプレイ)
- ・Google Classroom
- ・Google フォーム
- ・Google サイト
- ・Google Meet
- ・Google Chat
- ・Gmail

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・卒業後生活する地域に、どのような仕事があるのか調べ、理解を深める。 (知識・技能)
- ・自ら関心をもつテーマを決めて、主体的に情報を収集・整理・活用する。  
(主体的に学習に取り組む態度)
- ・情報機器を有効に活用し、課題をまとめ、選択・活用する。  
(思考・判断・表現)

(2) 指導過程

時間	●主な学習活動	○ICT活用ポイント、留意点 ★指示	使用機器 コンテンツ	情報活用 能力
導入 5分 個別 B1 ※1	<p>●前時で話し合った学習のテーマについて確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>学習課題</b> 地域にある仕事を調べよう ～自分の希望する仕事を探そう～</p> </div> <p>●Googleサイトに学習のテーマを入力し表示する。</p>	<p>○板書で学習のテーマを確認すると共に、聴覚障がいの困難さ軽減のため Google フォームで設定の理由を入力し、Google サイトでまとめることを提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末 (SurfaceGo2)</li> <li>・Google Classroom</li> <li>・Google フォーム</li> <li>・Google サイト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A2①ステップ2考えと理由、全体と中心などの情報と情報の関係</li> <li>※2</li> </ul>
展開I 25分 個別 B1 B2	<p>●前時で話し合ったテーマ設定の理由を Google フォームに入力し、まとめる。</p> <p>●Gmail に送信された Google フォームに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これまでの就業体験</p> <p>説明 (省略可)</p> <p>1-1. これまで体験した実習先はどこですか？ *</p> <p>記述式テキスト (短文回答)</p> <hr/> <p>1-2. 実習先ではどんな仕事内容でしたか？ *</p> <p><input type="checkbox"/> パソコンの入力</p> <p><input type="checkbox"/> 他の部署への連絡等</p> <p><input type="checkbox"/> 接客</p> </div>	<p>○前時に話し合ったテーマ設定の理由を、Google フォームの質問形式に整理し、入力しまとめることができるように準備する。</p> <p>○家庭学習できるように Google フォーム を Gmail に送信する。</p> <p>○Google フォームに記入が終わり次第、集約し Google サイトに記入する。(Google サイトは非公開設定で、校内ユーザのみの閲覧にする。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末 (SurfaceGo2)</li> <li>・Gmail</li> <li>・Google フォーム</li> <li>・Google Classroom</li> <li>・Google サイト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B1①ステップ1情報の大体を捉え、分解、整理し、自分の言葉でまとめる。</li> </ul>
展開II 10分 個別 B2 B4 B5	<p>●Webサイトを活用し、地域の仕事(事業所、仕事内容等)を調べ、Googleサイトでまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>地域にある仕事を探そう!!</p> <p>～市周辺で、卒業後に働く場所～</p> <p>(例) スーパーマーケット <input type="text"/> 店</p> <p>サロ <input type="text"/></p> <p>山向 <input type="text"/></p> <p>(仕事内容 (今年度採用範囲))</p> <p>(販売企画、販売促進) 商品販売にあたっての計画と立案</p> <p>(前経緯)</p> <p>・大学年 <input type="checkbox"/> 300円 (専攻手当含む)</p> <p>・専門、短大年 <input type="checkbox"/> 円 (専攻手当含む)</p> <p>・高校年 <input type="checkbox"/> 円 (専攻手当含む)</p> <p>(採手期) (備考) (勤務時間)</p> <p>通勤手当 年々 5:00 ~ 18:30</p> <p>(休養期) (備考) (休日)</p> <p>9:00 月平均 2時間 休 日数 19日</p> </div>	<p>○Webサイトで仕事を探せるように、検索するヒント(接客、バックヤードの仕事、障がい者雇用等)を提示する。</p> <p>○板書の代替と学習のまとめ・振り返りにつながるよう教師もタブレット端末を使い、Google サイト上で共同作業をする。</p> <p>○オンライン学習の体験を積むためにオンライン、オンサイト(学校と自宅)を想定した学習場面を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末 (SurfaceGo2)</li> <li>・Google Classroom</li> <li>・Google サイト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B1①ステップ1情報の大体を捉え、分解、整理し、自分の言葉でまとめる。</li> <li>・C1①a 事象と関係する情報を見つけようとする。</li> </ul>

まとめ 10分 個別 B2	●学習のまとめを Google Meet 内の Google Chat に感想等を記入して行う。	○学習のまとめを Google Meet で接続し、Google Chat 内に感想を記入した。 ○次時も Google サイトを活用してまとめることを確認する。	・タブレット端末 (SurfaceGo2) ・Gmail ・Google Meet ・Google Chat	・B1④ステップ1問題解決における情報の大切さを意識しながら情報活用を振り返り、良さに気付くことができる。
------------------------	--	--	---	---

※1 本欄におけるアルファベット及び数字で示した記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※2 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例 (IE-School における指導計画を元にステップ別に整理したもの)】(令和元年度版) 全国版」に基づく表記を示す。

## 7 県教育センター所感

- 聴覚障がい者の困難さを軽減・克服するため Google フォーム、Google Chat、Google サイトを用いたことはまさしく ICT を活用する利点だと思いました。UDL (学びのユニバーサルデザイン CAST(2018)) の「行動と表出のための多様な方法」での多様なコミュニケーションの提供や「提示(理解)のための多様な方法」での聴覚情報を代替しての提供につながっていることが伺えました。
- 学校と生徒の自宅をオンラインでつなぎ、在宅学習ができるよう Google Meet や Google Chat を活用した点は学びを止めないことにつながり、学習を受ける機会は学校だけに限らないことを示した好事例であると思います。
- 本事例は個別最適化された学習としては素晴らしいと思います。更なる学習の発展として聴覚障害の学習上の困難さを軽減・克服しつつ協働学習を目指し、Google Meet を活用し他校との交流を試みてはいかがでしょうか。これにより「主体的・対話的で深い学び」に一層つながる学習効果が期待できます。